



# 船頭のひとりごと



自然をこよなく愛するサラリーマン釣り師のきままな釣行記

## vol.2 例年この時期はアジ釣りだが…

みなさん、いかがお過ごしでしょうか？

大型連休の後半は、風が強く波の高い状況で釣りに行けませんでした。

しかしながら、前半に2回ほど釣行することが出来ました。

1日は一つテンヤでの根魚（アコウ、カサゴ）釣り。

もう1日は、この春シーズン最後のジギングです。

両日とも釣果を得られ（ジギングは苦戦しましたが帰港前に連発）、一応は満足行く時間を過ごすことが出来ました。

また、5月12日には旬を向かえたアジ釣りに行き、途中から風が強くなりかなり苦戦したものの、アジにマダイ、ヒラメにマトウダイなど、晩ご飯には十分な釣果を得ることが出来ました。

さて、今回は5月26日の様子をお伝えします。

朝 5時00分、港に到着。

この時期になると、朝5時でもかなり明るくなっており、沖堤防では多くの釣り人がエギングでシーズン終盤のアオリイカを狙っています。

出船準備を整え、5時20分に舳を解きます。

今日のポイントは、水深60～70mラインの魚礁群と瀬です。

朝の清々しい中、明るくなってくる山の稜線を見つめながら船を走らせる、この時間はなんともいえません。釣りを始める前のワクワク感は、何歳になっても少年の心を蘇らせてくれます。

湾を出ると、そこは遮るものは何もない大海原。

幸いにもこの日は東の風、微風。

波も穏やかでうねりもなく、船は順調にポイントに向かい走ります。

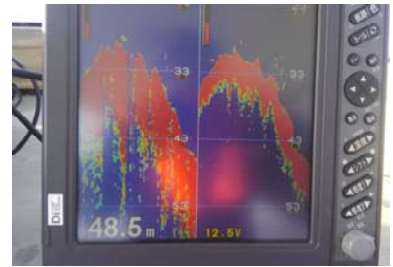
航程約20分でポイントに到着。

最初のポイントは、魚礁群の中でも一番高さのある場所です。

アンカーリングは、この魚礁より潮上10mに船が位置するように調整し、いざ釣りスタートです。



GWの釣果  
一つテンヤで根魚:カサゴが連発



GWの一つテンヤ  
洗根を攻めます(魚探の画像)



GWの釣果  
良型のカサゴが多数



GWの釣果  
ジギング:ヒラマサ

仕掛けは、ハリス3号、針数3本の天秤仕掛けで、仕掛全長は約6m。

コマセにアミを用い、付けエサはオキアミの生とします。

期待に胸膨らませた第1投、電動リールの逆転（糸送り）の音と共に仕掛けは紺碧の海に吸い込まれていきます。

着底後、まずは底から4m（コマセカゴの位置）に棚取りします。

潮はあまり効いていないので、最初の数回は少し多めにコマセを振り出しながら棚取りします。

イメージとしては、底潮が効いてないことによる、たるんだ仕掛けを当たりが出やすいようにやや張りながら棚取りし、コマセの帯の中に仕掛けを同調させる感じです。

しかしながら…、約30分このポイントで我慢しましたが、小型のアジがポツポツ程度でした。

そこで、ポイントを約2km沖、水深70mの瀬に移動しました。

すると、魚群探知機には大きなアジの反応が…はっきり言って嫌な予感しかしません。

よって、反応を避けるようにアンカーを反応より潮上、約30mで船が止まるように打ちます。

仕掛けを投入すると、早速、穂先に僅かに出る程度だがクンクンと小気味良い当たり。

追い食いを狙い取りこんだのは、25cm程度の中アジのダブル。

先週まで大型のアジが釣れていたのに、やはり反応はこのサイズ。

どうしたものか…（先週の話は、半分漁師の知り合いの情報です）。

大型のアジが出ると期待して粘りましたが、結局23-30cmくらいのアジの数釣りに終始しました。

そんな中でも、30-40cmクラスのイサキが数本交じったことから、来週以降は本格的にイサキ釣りに移行しようかと考えています。

アジの脂の乗りは凄まじく、刺身やアジフライで美味しく頂きました。

◎ 今回の一曲は…

今回ご紹介する曲は「PYRAMID」のアルバム「TEREPATHA」から「U & MOON IN PINK」です。

個々でも名の知れたギター、ピアノ、ドラムの各プレイヤーが奏でる音色は非常に心地よく、満たされた気分になさしてくれます。

皆様は、どのような贅沢な時間を過ごされていますか？



GWの釣果 ジギング：  
残念ながら前回と同じでメジだらけ



朝の港の風景  
朝5時はかなり明るくなりました



凧の海を走ります



25cm前後の中アジの数釣りです  
大型はいません



イサキは丸々と太ってます